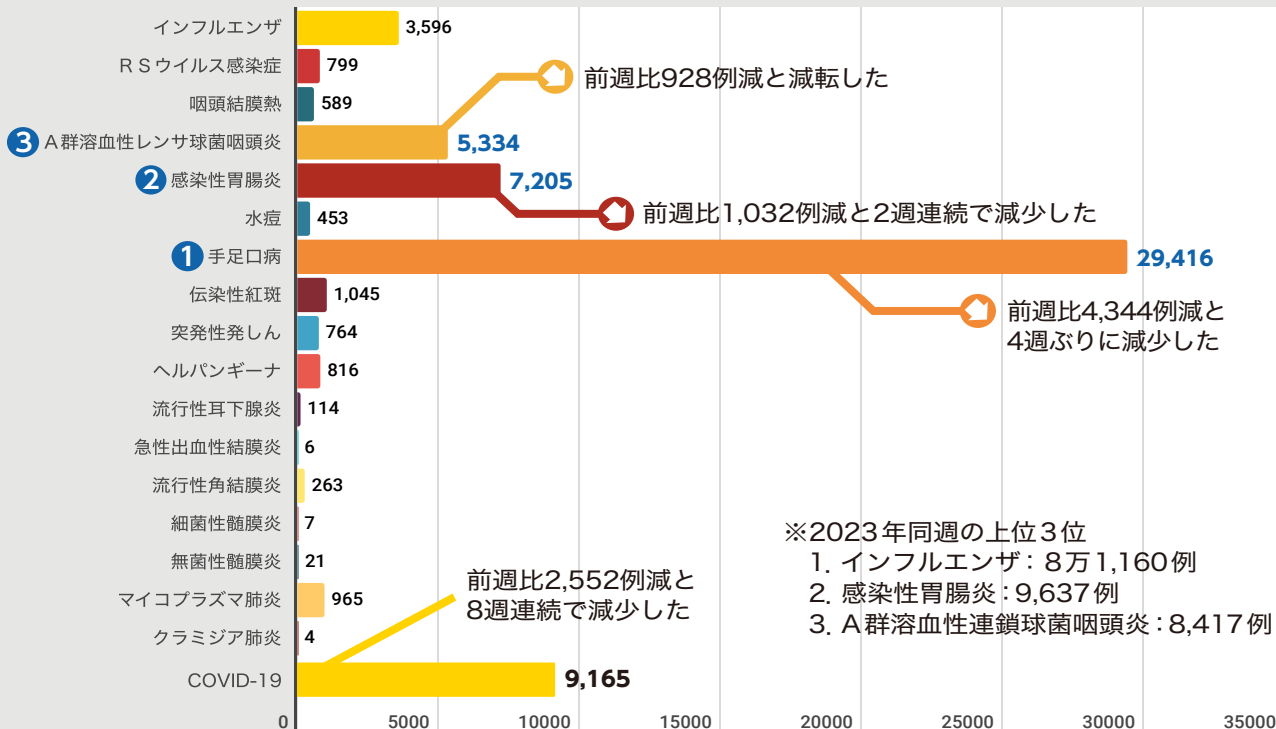




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

手足口病、過去10年でもまれな動向

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 手足口病

報告数

1. 東京都：2,967例
2. 埼玉県：2,608例
3. 神奈川県：2,601例

定点当たりの報告数(9.37)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県：26.93 | 4. 愛媛県：20.44 | 7. 栃木県：15.96 | 10. 香川県：13.04 |
| 2. 宮城県：21.36 | 5. 岩手県：18.75 | 8. 埼玉県：15.90 | 11. 新潟県：12.85 |
| 3. 福島県：20.63 | 6. 富山県：18.00 | 9. 群馬県：14.13 | 12. 宮崎県：12.69 |

※その他、28都府県が警報基準値(5.00)超え

② 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都：666例
2. 大阪府：537例
3. 神奈川県：432例

定点当たりの報告数(2.29)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|---------------|
| 1. 大分県：6.47 | 4. 宮崎県：4.00 | 7. 熊本県：3.58 | 10. 鹿児島県：3.04 |
| 2. 福井県：4.96 | 5. 石川県：3.93 | 8. 福岡県：3.28 | 11. 愛媛県：3.03 |
| 3. 徳島県：4.83 | 6. 鳥取県：3.84 | 9. 兵庫県：3.18 | 12. 群馬県：2.94 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 福岡県：476例
2. 東京都：392例
3. 埼玉県：334例

定点当たりの報告数(1.70)

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 福岡県：3.97 | 4. 宮崎県：3.11 | 7. 山口県：2.65 | 10. 千葉県：2.52 |
| 2. 鳥取県：3.89 | 5. 愛媛県：2.81 | 8. 富山県：2.62 | 11. 長崎県：2.45 |
| 3. 茨城県：3.20 | 6. 山形県：2.79 | 9. 三重県：2.53 | 12. 新潟県：2.36 |

今週の感染症動向

前週3万例を超えた手足口病は4週ぶりに減転し、2万9,000例台となった。定点当たりの報告数は9.37と警報レベルが続いており、今年のようにいったんピークアウトした後に二峰性の流行を示す動向は、過去10年間を見てもない。感染性胃腸炎は2週連続で減少し、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は減転した。COVID-19は8週連続で減少し、1万例を割り込んだ。月曜日が祝日だった影響もあり、その他の感染症も軒並み減少傾向にあったが、マイコプラズマ肺炎は第35週以降増加が続いており、定点当たり報告数は2.01だった。昨年とは全く異なる感染症動向。寒くなる時期に備え万全の感染対策を行いたい。